

平成26年の火災・救急・救助概況



火災

区分	平成26年	平成25年	増減	
火災件数合計(件)	122	168	▲ 46	
火災種別	建物火災(件)	56	73	▲ 17
	うち住宅火災(件)	24	47	▲ 23
	林野火災(件)	15	9	6
	車両火災(件)	10	11	▲ 1
	船舶火災(件)	0	0	0
	その他の火災(件)	41	75	▲ 34
	死者(人)	3	6	▲ 3
うち住宅火災(人)	2	5	▲ 3	
負傷者(人)	17	13	4	

▲は減少を示します。平成26年中の数値は速報値です。

平成26年中に市内で発生した火災は122件で、そのうち住宅火災は24件でした。また、火災による死者は3人で、うち住宅火災による死者は2人でした。前年と比較すると火災件数は46件減少し、そのうち建物火災は17件減少、その他の火災は34件減少となりました。

住宅火災については、23件減少となり、中には住宅用火災警報器が火災を感知し、初期消火に成功したという事例がありました。大切な命と財産を守るためにも、住宅用火災警報器を設置しましょう。



救急

区分	平成26年	平成25年	増減	
出動件数(件)	14,229	14,196	33	
搬送件数(件)	12,863	12,827	36	
搬送人員(人)	13,042	12,995	47	
主な事故種別	交通(件)	1,356	1,369	▲ 13
	一般負傷(件)	2,210	2,213	▲ 3
	急病(件)	8,867	8,742	125

▲は減少を示します。平成26年中の数値は速報値です。

平成26年中の市内における救急出動件数は14,229件で、前年に比べ33件増加し、市町村合併後過去最多の出動件数となりました。

事故種別でみると、例年同様、急病が8,867件と最も多く、次いで一般負傷の2,210件、交通の1,356件の順となっています。

また、傷病程度では、全体の約半数を軽症者が占めており、この中にはタクシー代わりに救急車を呼んだとみられるケースもありました。救急車の適正利用にご協力をお願いします。



救助

区分	平成26年	平成25年	増減	
出動件数(件)	126	130	▲ 4	
活動件数(件)	85	70	15	
救助人員(人)	130	70	60	
主な事故種別	火災(件)	4	7	▲ 3
	交通事故(件)	63	67	▲ 4
	水難事故(件)	12	11	1
	風水害等自然事故(件)	9	4	5

▲は減少を示します。平成26年中の数値は速報値です。

平成26年中の市内における救助出動件数は126件で、前年に比べ4件の減少となりました。事故種別でみると、最も多いのが交通事故の63件で、全体の50%を占めています。

平成26年の大きな特徴は、8月に襲来した台風第11号により、県内に大雨特別警報が発表され、市内でも大雨による救助件数が増加したことです。前年に比べて救助全体の出動件数は減少しましたが、度重なる台風の影響で、風水害等による事故が9件発生し、前年に比べ5件増加となりました。

問い合わせ 消防安全課 ☎254-0354 FAX256-7755
救急課 ☎254-1600
警防室 ☎254-1601